

富山型デイサービスについて

いままで

- 対象者を限定
- 集団ケア
- 住み慣れた地域から離れる

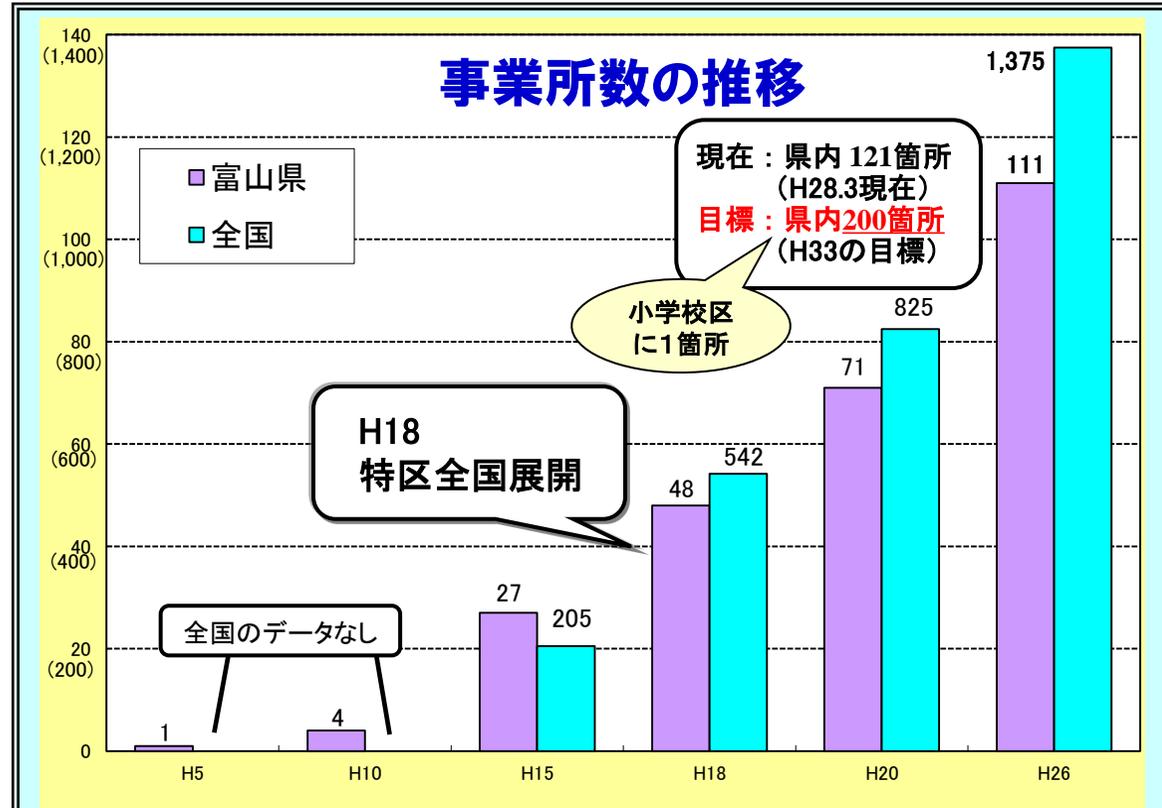
これまでの福祉サービスは
高齢者...高齢者介護施設
障害者...障害者施設
児童...保育所 等のタテ割り
⇒“地域共生”という視点からは課題がある

これから

「誰もが地域でともに暮らす」(共生)を重視

- 家族のように過ごせる第二の我が家
- 近所の人に遊びに行く感覚
- いつでも誰でも受け入れ可能

小規模：利用定員は10～20人程度で、
家庭的な雰囲気
多機能：障害者や子どもを含め、誰でも
受け入れ対応
地域密着：身近な住宅地に立地し地域との
交流が多い



本県で伸びている理由

- 富山型デイ発祥の地
(H5:「このゆびと一まれ」開所)
- 県民の共生への高い意識
- 行政の支援
(特区指定、ソフト・ハード面での補助)



「富山型デイサービス」発展の経緯

年度	発展の経緯	富山県の支援策
H5	「このゆびと一まれ」開所 富山県で初めての民間デイサービス	市町村へ県1/2補助(末端で県1/2,市町村1/2) 在宅障害児(者)デイケア事業 (H8~25)
H11	「このゆびと一まれ」富山県第1号のNPO法人に	富山県民間デイサービス育成事業(H9~11)
H12	介護保険制度が始まる	この頃、誰でも受け入れる民間デイサービスと行政の柔軟な補助金の出し方を合わせて “富山型” と呼ばれるようになる
H15	富山型デイサービス推進特区の指定(県、3市2町) 全国展開 特区の指定により、指定通所介護事業所で知的障害児(者)の受入が特区内で可能に	富山型デイサービス起業家育成講座 の開催(H14~) 福祉車両設置推進事業 (H16~) 富山型デイの 施設整備 や 研修 を支援(H17~)
H18	富山型デイサービス推進特区が全国展開 富山型福祉サービス推進特区の指定(県、2市1町)	特区の指定により、小規模多機能型居宅介護事業所で障害児(者)の通所サービス、宿泊サービスの利用が特区内で可能に
H22	富山型福祉サービス推進特区の一部が 全国展開	全国展開 通所サービスの生活介護について
H23	富山型福祉サービス推進特区の一部が 全国展開 とやま地域共生型福祉推進特区の指定 総合特区	全国展開 宿泊サービスについて
H25	富山型福祉サービス推進特区の一部が 全国展開	全国展開 児童発達支援、放課後等デイサービスについて
H27	地方創生型とやま地域総合福祉特区を提案 地方創生特区	

ふれあいコミュニティ・ケアネット21

ケアネット事業

要支援者に適した個別支援サービスの提供

- ・ケアネットチームの編成
- ・見守り、安否確認、個別支援
(話し相手、ゴミ出し、買物代行、除雪等)を実施



ケアネット活動コーディネーター<市町村社協>

- ・保健・医療・福祉のコーディネート
- ・サービスプログラムの提供

ケアネットチーム

地域の要支援者

要介護高齢者とその家族
ひとり暮らし高齢者
在宅障害者、精神障害者
子育て中の父親・母親等

保健師

看護師

隣人
友人

老人クラブ員

ホーム
ヘルパー

民生委員

ボランティア

【本県の支援概要】

①ケアネットチームへの支援

- ・チームづくり ふれあいサロン開催、情報誌の発行 等

※ 1地区30万円(県1/6、市町村1/2程度)

- ・チーム活動 見守り、買物代行、ゴミ出し等の個別支援

※ 1地区30万円(県1/3、市町村1/2程度)

②ケアネットセンター(市町村社協)の運営助成

地区数により上限500万円(県1/2、市町村1/2)

ケアネット実施地区数 ・チーム数の推移

